

手芸倶楽部新聞

2014年
7月8日号
第14号



新メニュー紹介

次回登場するのは、何と「がまぐち」がまぐちを一回の参加時間内で作っちゃおうと思います。

伊藤機能訓練指導員より

参加者の数も増え、活気ある雰囲気の中で、皆さん作業に取り組みられています。興味のある方は見学するだけでも良いので、お越し下さい。

次回は七月二十一日(月)、地域交流室にて十五時より開催予定です。お楽しみに。見学も大歓迎です。

手芸のコツ

同じポーチでも繰り返し縫うことで、技術の向上が期待できます。自身で布地を用意し、面会者三名にお揃いのポーチをプレゼントされた利用者様もいます。最初に自分用に作られたポーチより縫製がきれいで「上手にできた」とご本人様の自信に繋がったと思います。

これはキルト芯なしで作るので、ちゃんと裏地もつけるので、しっかりした縫製です。重たいものを入れてもびくともしませんよ。小銭入れが定番ですが、長く作って筆入れにもデザイン変更可能です。たくさんの方にチャレンジしていただければと思っています。



第十四回の手芸倶楽部もたくさんのご参加をいただきました。造化フラワーアレンジでは、薔バラとりんどうを用意しました。花としては地味な感じのりんどうですが、皆様にはなじみある花のようで、なかなかの人気でした。

また、お裁縫好きの方が集まり、前回途中だった金魚の巾着を作ったりました。あと一回で完成できるかな？

「金魚の巾着じゃなくて、普通の巾着をちりめん素材でつくりたいの」とおっしゃっていた利用者様は、同素材をつかって、アレンジした巾着を任せて下さいました。

実用的だし、とってもかわいいですね。次回の新メニューで、「がまぐちポーチ」をご用意していますが、今後も実用的に使えるものを作っていきたいと思っています。



編集後記：「お花作りに来たよ。みんなが楽しみにしてるから♪」毎回作ったフラワーアレンジメントを、リビングに飾って下さるK様。みんなの期待を背負い、張り切ってご参加くださいます。今は具合が悪くなって、縫い物が思うようにできないY様。落ち着かず混乱され、取り乱すこともあるのですが、以前縫った作品を手元に置くと、落ち着かれます。面倒でも誰かのために手を動かす。作品を見て自信を取り戻し、我に返る。手芸にはそんな効果もあるのですね。

